

## 平成29年6月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

### ◎ 個人質問

3番 柳原英子

#### 1. 井原市子育てサポート事業について

井原市の子育て支援事業は、様々な形で行われています。その一つに子育てサポート事業があります。

子育てサポート事業とは、「保育園や幼稚園への送迎ができない人」、「保育園や幼稚園等の開始前、終了後に子どもの保育ができない人」、「子どもが軽い病気の時などで保育ができない人」、「病気、出産などで保育ができない人」など育児の援助を受けたい人（お願い会員）と育児の援助を行いたい人（おまかせ会員）とを登録しておき、お互い会員同士で支え合う援助活動です。

近くに育児を頼める親族がいない世帯には、とても助かる事業だと思います。そこで、次の7点についてお伺いします。

①この事業をどのように広報されていますか。

②おまかせ会員の募集登録はどのようにされていますか。また更新はどのようにされていますか。

③お願い会員の募集登録はどのようにされていますか。また更新はどのようにされていますか。

④利用状況はどのようになっていますか。

⑤利用料金はどのようになっていますか。

⑥両者の面談はどのように行われていますか。

⑦援助活動中に万が一事故が起きた場合などは、どのような対応になりますか。

1. 教員勤務実態調査から何が問題なのかを分析し、問題点を解決する手だてをどう打つべきかについて

文部科学省が実施した2016（平成28）年度の公立小中学校教員の勤務実態調査（速報値）が4月28日に一斉にマスコミ報道されました。

これによりますと、小学校、中学校とも1週間あたりの平均勤務時間は、10年前の調査より中学校教諭で5時間12分増、小学校教諭で4時間9分増と大幅に増加しています。1日あたりの平均勤務時間は、小学校教諭で前回調査から43分増の11時間15分、中学校教諭で前回調査から32分増の11時間32分、教頭は小・中学校とも12時間を超えています。

今回、調査対象となった市内の小・中学校各1校の勤務実態は、文部科学省が発表した10年前のこれらの数値と比較してどうなのか。

調査項目がたくさんあり、しかも多岐にわたっておりますが、教育委員会ではこの実態調査から何が問題なのかを分析していますか。分析していれば、それらの問題点を解決する手だてをどう打つべきとお考えなのか具体的にお示しください。

2. ヘイトスピーチ対策法に対する市の対応について

まず、これまでに市内でヘイトスピーチ（憎悪表現）に関する事案が報告されていますか。

ヘイトスピーチ（憎悪表現）対策法、正式名称は「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」が2016（平成28）年6月に施行されました。

この法律の第4条第2項に地方公共団体の責務がうたわれています。また、第5条第2項では地方公共団体の相談体制の整備がうたわれています。

どちらも地方公共団体については「努めるものとする」という努力義務となっています。市としてこれらにどう対応していますか。

3. 各種選挙の入場券送付の改善について

このたびの井原市議会議員選挙で、有権者に配られる入場券の配達が非常に

遅かったことで、多くの方から苦情を聞きました。

今後の各種選挙では入場券配達が遅くなるようなことがないようにしなければなりません。

選挙管理委員会としては、実情をどう把握されていますか。また、なぜ遅れたのか原因をつかんでおられますか。

郵便局とはどのような契約書を交わしておられますか。今後何をどうすれば改善できるとお考えでしょうか。

#### 4. 放課後児童クラブの施設の移設などの改善の見通しについて

市内の放課後児童クラブの施設の移設など、改善が必要な箇所があると考えます。市では今後、移設などの改善が必要な施設は何箇所あるとお考えでしょうか。

放課後児童クラブの関係者は、早期移設などを強く望んでおられます。市としての今後の見通しをお示してください。

#### 5. 星の郷青空市場に隣接している遊園地の整備充実の手だてについて

星の郷青空市場には、市内外から多くの買い物客が来られています。中には子ども連れの方もおられ、買い物中、子どもさんがこの遊園地の遊具で遊びながら時間待ちをしています。また、美星町内の子どもさんなどもここで遊んでいます。

特に地元のお母さんから、雨が降ったら周りに水が溜まって危ないなどの声があります。

ここの管理は、星の郷青空市場が行っていますが、市内外の親子連れの家族や地元の子どものさんが安全で安心して遊べるようにするため、市として整備費等の助成をしてはどうですか。

#### 6. 「10食品群チェックシート」の啓蒙と普及について

健康寿命日本一を目指す市長として、市民の方々が健康で長生きできる条件づくりを考えることは大変重要です。

日々の食事で栄養が偏っていたり不足していても本人は元気だと思っているケースが多いのですが、実はこの「10食品群チェックシート」で「隠れ栄養

失調」であることが発見でき、発見後に食事を改善し「隠れ栄養失調」を克服して長生きができることになります。

そこで、市民に「10食品群チェックシート」の啓蒙と普及をしてはどうですか。

19番 佐藤 豊

1. 田中美術館開館50周年に向けた取り組みについて

市民ギャラリー（旧田中館）は、昭和44年に開館以来、2年後には開館50周年の佳節を迎え、また、その年は平櫛田中先生没後40年でもあります。そうした時の流れの中で、市民ギャラリー等の老朽化と利便性は著しく後退している現状にあり、多くの関係者から文化・芸術の発信拠点として、また、利用者や文化の薫るまち井原の顔として、新たな施設建設を求める声を聴きますが、本市の考えを伺います。また、関連して以下のことについて併せてお伺いします。

- ①歴代田中賞受賞作品及び平櫛田中作品の収蔵庫スペースの現状と受賞者作品や収蔵作品の展示状況について伺います。
- ②インバウンド誘客や作品鑑賞者の増に向けた観点から、学芸員の執務室の増設及び事務職員の増に向けた考えについて伺います。
- ③別館の増設から48年、新館建設から34年が経過した現状の中で、来館者が最高の環境「照明・空調等」で鑑賞ができていると考えるか伺います。
- ④来館者増に向けた新規の田中作品集蔵の考えについて伺います。
- ⑤開館50周年の特別展等の開催予定とその内容について伺います。
- ⑥夢先生の取り組みで、東京芸術大学の学生との交流事業について伺います。

⑦国内外からの来館者増に向けた観光振興対策の本市の取り組みについて伺います。

⑧田中苑を活用した定期的な催しの開催の考えについて伺います。

## 2. 道路改修及び改修後の開通予定日の周知について

集中豪雨や台風等で中山間地の道路（県道・市道）ののり面等の崩壊や陥没により、交通規制が行われた際の修復工事期間や開通予定時期等の情報発信の現状について伺います。

## 3. 本市の空家対策計画の策定状況について

1) 昨年12月議会で「空家等対策の推進に関する特別措置法」施行後の本市の取り組み状況と、空家対策計画の策定について質問をしました。その際の答弁では、空家の実態調査とデータベース化に取り組んでいるとの事であり、平成29年度には完成したデータベースを活用した、本市の空家等対策計画を策定するとされていますが、現状の進捗状況についてお伺いします。

2) 特定空家等の撤去促進のため、解体・撤去費用に補助金を交付する自治体が増えていますが、本市としての考えを伺います。

1 番 妹 尾 文 彦

## 1. 幼児教育の推進について

1) 現在、すべての幼稚園において3歳児教育を開始されています。幼い時からの教育を行うということは、非常に大事だと私も考えております。そこで、3歳児教育を始めた経緯についてお伺いします。

2) 「元気いばら まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の幼児教育の推進において、「子どもの自発性や社会性、道徳性、自立心、創造力などの芽生えとなる豊か

な経験が得られるよう、教育内容と指導方法の工夫・充実を図る」とありますが、具体的にはどのような教育内容であるのかお伺いします。

12番 藤原浩司

#### 1. 発達障害等について

- ①発達障害には様々な症状があるが、療育手帳等の受給者証を取得している方はどのくらいおられるのか伺う。
- ②幼稚園、小学校、中学校における発達障害の子供達への対応は、どのようにされているのか。また、専門知識を持たれた先生方は、どの程度のスキルアップをされているのか伺う。
- ③発達障害の中でも自閉症児に対しての ABA 療育(アプライドビヘイヴィアアナリシス)応用行動分析・行動療法という療育がありますが、井原市近辺で ABA 療育を受けることができる施設があるのか伺う。また、様々な発達障害に対して専門知識を持たれた NPO 法人及び施設があるのか伺う。
- ④井原市では今後、発達障害の人たちに対して、どのような対応をし、社会に適応できるように療育をするのか伺う。

6番 西村慎次郎

#### 1. インバウンド(外国人旅行者)施策について

2017年に日本を訪れた外国人旅行者が5月中旬には一千万人を超え、6月上旬に突破した昨年より3週間程度早く、過去最速のペースとの報道がされている。岡山県内の観光地でも外国人旅行者を多く見かけるようになり、これまでの東京や大阪、京都といった有名観光地から、地方の観光地への流れが加速している。

こうした状況の中にあつて、井原市では、でんちゅうくんが初の海外プロモーションということで、7月のフランス・パリのジャパンエキスポへ日本代表として参加し、本市の魅力を広く発信される予定となっている。

このような動きを踏まえて、本市及び広域でのインバウンド施策について伺う。

- 1) 今年度の本市及び広域での外国人旅行者の誘客に向けた取り組みについて
- 2) 外国人旅行者が本市を訪れることを想定した受入態勢の整備について

2番 多賀 信 祥

## 1. 防災計画について

- 1) 土砂災害防止法に規定する土砂災害について、災害発生のある場合の市の具体的な対応を伺います。また、過去の土砂災害時または予兆段階の際に、本市の計画どおり機能したかどうか伺います。
- 2) 大雨による洪水災害と土砂災害の同時発生が想定できますが、現状の計画では十分な対応が人的にもかなり困難であるように思います。防災計画での応援要請の条項はどのようになっているか伺います。
- 3) 避難準備情報が発令された場合、指定避難場所への避難の際に、土砂災害警戒区域を通らなければ移動することができない地域、特に市境の集落において、市を越えての協力体制の現状について伺います。

## 2. 市内の高等学校について

- ①井原市立高等学校とその他2つの高等学校とは、運営母体の違いから立場を同一にすることはできないと考えますが、今日までの市内での学校施設としてのそれぞれの高等学校の役割について、本市の認識を伺います。
- ②今日までの井原市の高等学校は、3校それぞれの必要性、特色が発揮され、

十分な受け入れ体制であったと思いますが、市が把握している県立高校再編の動向について伺います。

10番 三宅文雄

1. 小中一貫教育の推進について

不登校やいじめ、中一ギャップの問題など、少子化社会の中で現行の義務教育9年間のあり方が問われています。小中一貫教育の導入について、本市の考え方及び今後の方針について伺います。

2. 商工業関係事業について

1) 平成28年度に予算計上した産業団地適地調査事業について、現在までの進捗状況及び今後の計画について伺います。

2) 平成28、29年度に予算計上した井原市照明都市計画推進委員会補助（LED化補助等）の内容について伺います。

13番 上野安是

1. 放課後児童クラブについて

1) 少人数児童クラブへの支援について

かねてより懸案の少人数児童クラブ（利用児童数が19人以下）への支援強化（委託料の増額）ができないかお伺いします。

放課後児童クラブ（以下「児童クラブ」という。）は、「小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、放課後に学校等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る」ことを目的とした放課後児童健全育成事業の一環として、市内15施設で展開されています。井原市の場合、15の児童クラブが各々、運営協議会を設け、市からの委託

金、保護者負担金でこれを運営しています。

成り立ちの経緯などから、利用する児童数が19人以下の児童クラブと20人以上の児童クラブでは、その委託料に大きな差があるのが現状です。具体的には、平成28年度の委託料基本額は、児童数19人のクラブでは1,991,000円、20人のクラブでは3,336,000円で、その差は、1,345,000円となっています。この差は早急に埋めるべきものであると考えます。市長の考えを伺います。

## 2) 児童クラブ支援員の確保対策について

各児童クラブとも、支援員確保については苦慮されていると聞きます。

平成28年9月定例会における同僚議員の質問に対し、「支援員の登録制度を設けている。」、「大学に協力いただき、常時ある程度の人数の支援員を確保できるよう努めている。」と回答されております。

現状どのように対応されているのか改めて伺います。

## 3) アレルギーのある児童の受け入れに対する各児童クラブへの支援について

平成28年9月定例会での質問に対し、「他市の状況等も調査し、今後の検討課題としたい。」と回答されております。

進展はありましたでしょうか、伺います。

16番 三輪 順治

## 1. 井原市第7次総合計画の策定について

芳井町、美星町2町の編入合併から10年を超えた。

また、平成20年に現在の第6次総合計画が策定され、今年度が最終年度となっている。

現在、平成30年度以降の向こう10か年を見通した、第7次総合計画が策定中である。

そこで、以下の点について伺う。

1) 第6次総合計画後期基本計画の達成見込みと課題について

①基本目標ごとの重点分野として6点設定されているが、それぞれについて

②計画期間中に新たに生じた政策への主な対応について

2) 第7次総合計画の策定について

昨年度と今年度の2年間をかけ取組中と聞いているが、全体の進捗状況について

①どういう体制で取り組まれているのか

②昨年度2回開催されたワークショップの概要について

③元気いばら まち・ひと・しごと創生総合戦略との関わりについて

④10年後の井原市の将来像について